

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館利用促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 航空宇宙産業課 企画連携係 電話番号：058-272-1111 (内 2936)

E-mail : c11354@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 67,000 千円 (前年度予算額：85,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	85,000	31,323	0	0	0	2,000	8,879	0	42,798
要求額	67,000	26,824	0	0	0	2,000	4,932	0	33,244
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- 平成29年3月に改定した「岐阜県成長・雇用戦略2017」において、「航空宇宙産業の製造品出荷額倍増プロジェクト」を最重要プロジェクトに位置付けており、「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館 (通称：空宙博)」を活用して、小中学生の航空宇宙に対する興味の喚起と同産業への将来の就業促進を図ることとしている。
- 空宙博は、平成30年3月24日に県と各務原市とが共同でリニューアルオープンした国内唯一の航空と宇宙の本格的な専門博物館であり、平成30年度は43万人、令和元年度は27万人と多くの来館者が訪れている。
- しかしながら、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響から、来館者数が大幅に減少しており、来館者増加に向けた取組みが必要である。
- 現在の経済情勢、航空宇宙産業を取り巻く環境は非常に厳しいが、空宙博は岐阜県の航空宇宙産業の力、文化を国内外へ発信する拠点であるとともに、将来の航空宇宙産業を担う小中学生に「先人たちの空・宇宙への挑戦の物語を伝え、感動とチャレンジスピリットを与える」ことも目的としている。
- そのため、将来のためにも情報を発信し続けることが重要であり、内容、予算を精査しつつ、空宙博の魅力をPRし、来館者の増加につながるイベントを継続的に開催していく。

(2) 事業内容

博物館の来館者数の増加を図る（利用促進）ため、博物館の魅力及び認知度を向上させる事業を実施する。

1. 特別イベントの開催（19,745千円）

空宙博と連携する海外の博物館との共同プログラムや航空・宇宙に関連する全国レベルの大会、空宙博の日イベント（4周年記念イベント）を開催する。

2. 人材育成（3,219千円）

令和2年度から新規に開始した小学生向けの連続講座「ちびっこ宇宙博士認定講座」の拡充及び展示物を活用した「教育プログラム」の改善を行う。（企業版ふるさと納税対象事業）

3. 展示内容の充実（35,675千円）

米仏露の連携博物館やJAXAからの借受、設計図面の提供による模型製作により、展示物の充実を図る。

4. 観光誘客（2,258千円）

博物館来館者数増加及び地域経済活性化のため、宣伝広告を行う。

5. 関係機関・団体との連携強化（6,103千円）

連携先との関係の深化と新たな連携先の開拓を模索する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県と市は、共同で博物館を所有し、運営することとしているので、本事業は、原則として県と市が同額負担する。ただし、県の施策として県が主体的に実施するもの及びその効果が市の域を超えて波及するものは県が全額を負担する。

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額（千円）	事業内容の詳細
報償費	746	報償費
旅費	6,923	費用弁償、業務旅費
需用費	6,428	消耗品費、対外交流費、会議費、印刷製本費等
役務費	1,747	役務費（通信運搬費）、保険料
委託料	46,900	業務委託料
使用料及び賃借料	588	使用料及び賃借料
備品購入費	2,700	備品購入費
負担金、補助及び交付金	968	負担金
合計	67,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 事業主体及びその妥当性

「岐阜県成長・雇用戦略2017」に掲げる「航空宇宙産業の製造品出荷額倍増プロジェクト」において、「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を活用した小中学生の航空宇宙に対する興味の喚起と同産業への将来の就業促進」を具体的な取組として位置付けていることから、各務原市と共同で設置する博物館に関する取り組みは、同市と共同で行うことが妥当である。なお、本博物館の維持管理については、県と市が共同で設立した（公財）岐阜かかみがはら航空宇宙博物館が指定管理者として行う。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和3年度の来館者数30万人を目指すとともに、博物館を活用した本県の航空宇宙産業をPRする。また、同博物館の利用促進を図ることにより、子どもたち（主に小中学生）に航空宇宙への夢や魅力を伝えて興味を持たせ、同産業への就業につなげることにより人材不足の解消を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	リニューアル前	現在値	目標	達成率
博物館の来館者 (人)	123,027 (H26)	61,278人 (R2.10末)	300,000人 (R3)	20.4%

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

○企画展等の開催

- ・空宙博・ロシア交流記念特別企画「宇宙開発のはじまり」(R2.3.20～4.3)
- ・企画展1「ドローンが拓く未来」(R2.8.1～9.27)
- ・企画展2「おかえり！はやぶさ2」(R2.10.24～R3.2.1)
- ・空宙博写真コンテスト作品展 (R3.1中旬～5中旬) (予定)
- ・「空宙博の日」特別企画展 (R3.3.20～5.17) (予定)

○航空宇宙関連イベントの開催

- ・ちびっこ宇宙博士認定講座 (40人参加)
- ・ドローン体験教室 (21人参加)
- ・宇宙工学講座 (10校、46人参加)

○その他

- ・展示物の新規製作（天鉄刀、はやぶさ2関連実寸模型4種）及び修繕
- ・博物館のデジタルコンテンツ製作
- ・海外連携紹介パネル製作

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

- 年間を通じて企画展、航空宇宙関連イベント等を開催することで、子どもたちの航空宇宙に対する興味を喚起するとともに、博物館を広くPRすることができた。
- コロナ渦を踏まえて速やかに新規デジタルコンテンツの作成を行い、来館できない状況でも空宙博の展示物を楽しめる機会を提供することができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</p>	
<p>(評価) ○</p>	<p>県では、平成29年3月に策定（改定）した「岐阜県成長・雇用戦略2017」において、「航空宇宙産業の製造品出荷額倍増プロジェクト」を最重要プロジェクトに位置付け、航空宇宙産業のわが国有数の集積地である各務原地域と中部地域を広くPRするとともに、次代の航空宇宙産業を担う子どもたちに興味を持ってもらうことで将来の人材確保を掲げていることから、県が関与し本事業を進めていく必要性は高い。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
<p>(評価) ○</p>	<p>リニューアル開始時（H26年度）の来館者数に比べ、リニューアル後（H30年度）の来館者数は約3倍、コロナウイルスの影響下にある令和2年度でもリニューアル開始時と同程度で、リニューアル事業とその後の利用推進事業の効果は高いと言える。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</p>	
<p>(評価) ○</p>	<p>県、市及び財団が参加する会議を定期的に行い、事業内容に関する意見交換、進捗状況の共有を行うことで、事業の効率性を図っている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 コロナウイルスの影響がある中、子どもたちから専門的な興味・知識を有する方までの幅広い層に対し、効果的かつ効率的に、博物館の魅力を伝え、認知度を向上させることが必要である。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 将来の航空宇宙産業の人材育成・確保のためには、より多くの子どもたちの興味関心を得ることが必要であり、イベント開催、人材育成、観光誘客、各種連携先の連携強化を実施することで、博物館の魅力及び認知度向上に取り組む。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など</p>	